だんだん新聞号外

今年も鏡十八夜祭がやってきました。今回は、総勢30名(子供も含む)で参加させていただきました。いつもと違うのは、今年から、スタッフ以外の参加を呼びかけました。いつもお世話になっている内川先生や、介護職員初任者研修修了生などご参加いただきました。この場をお借りし御礼申し上げます。

さて、今年は、残念ながら入賞は逃しましたが、スタッフやご利用者の奮闘の様子をお届けします。



浴衣の着付けを「みぞか」の利用者様に教えていただきました。



今年の参加メンバーです。



踊りがスタートしました。前列は、子供達です。2列目、3列目は主に通所介護です。今年も浴衣で艶やかです。



4列目は、有料老人ホームと訪問介護です。以降は、一般参加者そして介護タクシーです。



さて、道中も露店などでお祭りの雰囲気です。この祭りの魅力の一つ「観客が近い!」かき分けて進みます。



審査会場です。市長をはじめとした審査委員にアピール!(あれ?ペン動かず!?)最後まで頑張りました!!



みな様、お疲れ様でした。残念ながら今年は、入賞は逃しましたが、事業所間を超えスタッフ間の結束力はさらに強くなったと感じています。また、今回は、介護職員初任者研修修了生のミニ同窓会も同時に行いました。久 しぶりに会う同回生や講師が当時を懐かしそうに話し、互いを健闘し合っていました。

ちなみに鏡十八夜祭とは?

鏡町の子授け・安産・良縁などで有名な子安観音堂の夏祭りで、数百年の歴史があります。

会場となる商店街では所狭しと名物の「造りもん」や露店が並び、メインイベントの総踊りでは地元商店や各 種団体など約数百名が参加して「鏡音頭」と「サンバ大鞘節」を披露します。

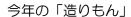






昼の子安観音堂

祭りの夜は賑やかになります









今年は6点展示されていました。どれもすごい手間と時間をかけて作成されています。





子安観音堂の近くには、印鑰神社があります。春季大祭の鮒取り神事は、大変にぎやかです。

来年も一般参加者を募集いたします。ぜひご参加ください。毎年7月18日開催です。